地となっている所を借り受け、広場を整備して頂きたい。

(2)新幹線問題について

県民の一員として、大村が果たす役割から考えるべき。やはり新幹線は必要。以前多良岳の恵みを受ける市町村が、総合的協力や県境を越えた合併までも視野に入れた多良岳サミットが開かれた。大所高所からの観点で、反対している鹿島市の理解を頂けるよう市長の働きを大いに期待するが、いかがお考えか伺いたい。

福祉保健部理事　(1)高齢者のスポーツ活動は、生きがいづくりや介護予防、更には医療費の抑制にもつながるものと考える。また児童にとってもよい効果があるものと考える。民間遊休地の活用については、環境保全条例において市が空閑地を所有者から信託を受け、運動広場等として地域住民管理のもとに利用することがきるようになっている。所有者の承諾を得て利用者が利用目的に応じて造成等を行うことは可能である。また、地域で土地を確保し、ゲートボール場等を整備する場合には、整備費についての補助金もあり、何地区かの町内がそれぞれの単位で申請をする方法もあると思うので、協議されて活用していただきたい。

市長　(2)基本的にいろいろな考え方が市民、県民の中にはあるが、今こそ着工し、実現させることが、大村市や長崎県土のため、また将来のためになると確信を持って訴えているところである。鹿島市へは、行政レベルにとどまらず、各界各層において粘り強く働きかけており、短期的ではなく、将来のためにということで一生懸命努力している。今後も早期着工に向けて市が取り組むことはいうまでもなく、市民運動として盛り上げたい。

(その他の質問事項)

・市立病院公設民営化について

九州新幹線長崎ルート概要図

市民の安心安全のためには税は配分すべきである!!

松崎議員　(1)教育行政について

①教育長は地域と学校と保護者が連携して子どもたちの育成をと言われていますが、一緒にやれたらと考えておられる一端でもお話を。

②特別支援教育について

本年度から特別支援教育法が改正され取り組まれています。支援チームづくりも大事ですが、校内組織をつくり全体で支えることも必要です。補助員を配置しているが、子どもたちの命と授業の保障と事故防止をどうされるのか。

(2)市立病院への指定管理者導入について

赤字の原因が、医師不足・国の医療費抑制政策など述べられています。民だと医師確保ができる事例をあげて説明を。自治体病院の不採算部門といわれる「救急医療や長期入院」や断らない医療はどうなるのか。協定書により市の支出する経費が結ばれ、金は出すと思うが安心医療は保障されるのか。

教育長　(1)①学校側としては、信頼される学校づくり、信頼される教員になるということは当然である。また保護者の皆様には、学校形成のためのスタッフであってほしいという思いである。

②まず学校の指導体制をつくり、全職員が実態把握をし、指導していく。学校にはコーディネーターを位置づけているが、活動の方法について指導していきたい。補助員も今年度は21人に増員されたが、大村市には特別支援教育学校である虹の原養護学校や大村養護学校があり、連携をしていく。また、臨床心理士やスクールカウンセラー等と相談をしながら、保護者への理解を求めていきたい。

企画部長　(2)調査をしたところについては、制度導入前と導入後も医師の確保についてはできているという返答を得ている。

市長　制度導入後も救急医療や政策医療については、積極的に取り組み、一般会計からも適正な繰り出しを行うこととしている。指定管理者との協定においては政策医療への取り組みを含めて、施設整備に関する経費等を詳細に協議していくことになる。これまでの医療水準を低下させることなく繰り出し基準内でより良質な医療を提供できるように努めたい。

(その他の質問事項)

・民間のプール利用で健康増進を

・地縁団体の認可行為と自治省通知の理解について